

人文学部 カリキュラム・ポリシー

文化学科

世界諸地域の文化を、哲学、歴史学、考古学、社会学、文化人類学、地誌学、美術史、言語学、文学、図書館・情報学といった学問分野から専門的・総合的に学ぶことのできるカリキュラムを用意しています。

－ 4年間のカリキュラム構成と特徴 －

- 1年生：入門と基礎を前期の「文化学科スタートアップセミナー」では大学での学習の方法を学びます。また「地域から考える文化と社会」では地域の文化や社会的問題を学ぶことで専門科目を学ぶ上での問題意識を身につけます。後期の文化学研究総論では、文化学研究とはどのようなものか、その概要を学びます。また「文化学必修科目（基礎）」で、さまざまな学問領域の基礎的な考え方や知識を学んでいきます。1年生の最後には、これから専門的に学んでいく地域を決定します。
- 2年生：学問領域ごとの専門的知識の充実と、地域文化への幅広い視野を前期の地域文化研究（4地域別）で各地域文化に対する幅広い視野を得ながら、地域必修科目では多様な地域文化の諸相を学びます。また文化学必修科目（発展）や後期の文化学セミナーでは、学問領域ごとのより高度の理論や研究を進めるための方法論などを学習します。2年生の最後には、これから専門的に学んでいく学問領域（指導教員）を決定します。
- 3年生：専門演習（ゼミ）に所属して、より深い地域文化理解を専門演習では、これまで学んできた専門的知識や研究方法を活かして、最も関心のある文化事象について研究を深めて行きます。また地域必修科目の学習を継続しながら、自分の研究テーマについて、多角的な視点からの理解を進めます。
- 4年生：卒業研究を通じて4年間の集大成を指導教員の指導の下に、4年間の学習の集大成として卒業論文を作成します。

(カリキュラムの図)

